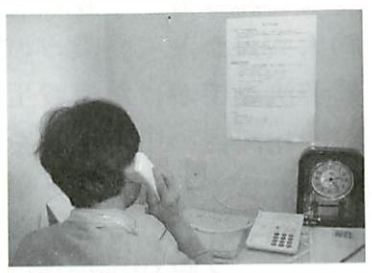
「はじめよう！ボランティア」
ボランティアサロンに来てみませんか？

島本町社協ボランティアセンターでは、「何でもいいからボランティアをしたい」「何か人の役に立ちたい」「自分に出来ることがあるなら…」「地域とつながりたい」など、自分の持っている趣味・特技や、何かの形で自分の力を地域に役立てたいと思っている方々の思いを最大限にくみ取りたいと思っています。ほんの小さなきっかけが大事だと思っています。そのきっかけづくりのために、ボランティアサロンに来てみませんか。

あなたの望むボランティアができるかどうか、島本町社協に登録しているボランティアやボランティアセンター運営委員と一緒に、探してみませんか。お気軽に、お越しください！

日　時：２月26日　３月26日
午後３時～４時30分（毎月第４金曜日）
場　所：社協２階研修室　　**申し込み**：不要

「愛の一声」　研修会のお知らせ



「愛の一声」＝写真＝は、島本町から社協が委託を受けている声による訪問活動です。ひとり暮らしの年長者宅へ、電話で安否確認をしていただけるボランティアを募集しています。

日　時：３月12日（金）午前11時～午後３時30分
場　所：ふれあいセンター　３階　視聴覚室
内　容：電話対応の基本や傾聴について
対　象：ボランティアに興味のある方
費　用：無料（ただし昼食代は実費徴収）
申込期限：２月25日(木)　社協まで。

※「愛の一声」を利用されたい方
利用条件：65歳以上のひとり暮らしの年長者
申し込み：島本町民生部高齢福祉課
ＴＥＬ　９６２－２８６４

献血は愛のボランティア

インフルエンザの流行により、例年よりも血液が減少しています。また、医療機関では95％が400mlの献血を使用しているため、400mlでの献血にご協力をお願いいたします。

次回献血実施日
３月30日(火)　コープ島本
時　間　午前10時～正午、午後１時～４時

◇お知らせ◇

毎年４月に開催されていました「ふくしふれあい広場」（日帰りバスツアー）は、現在、検討中のため、決定しだい広報“やまぶき”でご案内いたします。

社協ボランティア＝3＝

真剣に音訳する会員

日々研さん 進化続けて25年
朗読ボランティアグループ「愛音（あいね）」

朗読ボランティアグループ「愛音」が誕生した当初は視覚障害者の方々のために「広報しまもと」を声の広報としてテープに音訳していました。その頃はまだ、ふれあいセンターもなく、役場の会議室で外の物音にビクビクしながら、少人数で録音したものです。

それから25年。「やまぶき」をはじめ「福祉おおさか」「町議会だより」「各地区ニュース」「ボランティアだより」「選挙公報」などの刊行物、リスナーからの依頼図書、取扱説明書など多種にわたって音訳してきました。

いかに親しみやすく、分かりやすく、そして正確に伝えることができるか。メンバーを招いての養成講座や自主勉強会を行い、絶えず文章を読むことや「間」を研究し、腕を磨いています。そんな日頃の研さんの成果をリスナーや町民のみなさんにも聴いていただこうと、年１回発表会を開催しています。そのかいあってか、最近は社協の会議や講師学校・各種集まりなどの朗読や司会にもお声がかかります。

また近年、テープ図書のデイジー（視覚障害者が録音図書を聴くために開発されたデジタル録音方式）化がうたわれ「愛音」でもパソコンでのデイジー作製を勉強中です。

時代とともにハード（機材）ソフト（技術）両面で進化を続ける「愛音」。３月13日（土）にはケリヤホールで「25周年記念発表会」を開きます。（濵口）

□　代表者・濵口　美雪
□　会員数・29人
□　問い合わせ・社協まで
□　☎075－962－5417

愛音25周年 記念公演
朗読 de 劇

▼日　時＝３月13日（土）午後１時30分～３時30分（開場＝午後１時）
▼場　所＝ケリヤホール（ふれあいセンター）

◆第一部
「求めない」
金の卵をうむにわとり（イソップ童話より）
詩・求めない（加島祥造著より）

◆第二部
「うらぼんえ」（浅田次郎著より）

主催＝朗読ボランティア「愛音」
後援＝島本町社会福祉協議会

問い合せ　TEL 075-962-5417
FAX 075-962-6325